

活動報告

平成18年

- 1月1日 福山山岳会メンバーと八ヶ岳「赤岳2889m」登頂
- 1月2日 福山市民走ろう会新春初走りに参加
- 1月8日 福山駅伝に出場
- 1月9日 福山市成人式に出席
- 1月14日 虹の会・新年会を開催
- 1月26日 ローカルマニフェスト地方議員連盟勉強会に参加
- 1月28日 福山地区弁護士会・個人情報保護における勉強会
- 2月6日 「サマンサタバサ」の上場記念パーティーに参加
- 2月11日 大田ゆうすけスキーツアー開催
- 2月14日 北海道ニセコ町視察
- 2月19日 福山山岳会・市民ウォーキング大会に参加(吾妻山)
- 3月1日 神辺支所開庁式に出席
- 3月3日 「がんばれカーブ・びんご交歓会」に参加
- 3月4日 中川秀直政調会長・時局講演会に参加
- 3月10日 「九条の会」に参加
- 3月12日 南小学校・県教育奨励賞受賞祝賀会に参加
- 3月19日 ふくやまマラソンに出場
- 3月22日 多治米小学校卒業式に出席
- 3月25日 東林館高校卒業式に出席
- 4月2日 松永「リトルウイング」カフェ・コンセルに参加
- 4月5日 CAC医療技術専門学校入学式に出席
- 4月7日 南小・城南中入学式に出席
- 4月9日 ネットワーク地球村講演会に参加
- 4月15日 C・W・ニコルさん講演会に参加
- 4月20日 ローカルマニフェスト研修会に参加
- 4月23日 走ろう会主催「緑町公園リレーマラソン」に参加



- 4月24日 総務省視察(個人情報保護条例)
- 4月29日 山野峡山開きに参加
- 5月3~5日 北アルプス白馬岳山スキーツアー



- 5月13日 福山市戦没者追悼式に出席
- 5月15~19日 JIAM市町村議会議員特別研修に参加
- 5月20日 母・大田祥子3回忌
- 5月21日 ばら祭・ローズパレードに参加

- 5月24日 瀬戸川浄化施設を視察
- 5月27日 第2回大田ゆうすけ杯ゴルフコンペ開催
- 5月28日 沖野上グランドゴルフ大会・南小運動会に参加
- 5月29日 グローバルビジョン総会に出席
- 6月2日 社会福祉法人「一れつ会」20周年に出席
- 6月3日 虹の会「健康食の食事会」に参加
- 6月10日 「食育・生活習慣病を防ごう」セミナーに参加
- 6月11日 服部ホテル祭に参加
- 6月12日 サッカー・ワールドカップ観戦会を開催
- 6月13日 「中国最西端イスラムの街 カシュガル・タシュクルガン写真展」
- 6月17日 大橋雄二氏「日本文化と命の食」講演会に参加
- 6月28日 多治米地区市政報告会を開催
- 6月30日 駅前地下駐輪場オープン記念式典に出席
- 7月1日 市制90周年記念式典に出席
- 7月4~6日 北海道・会派視察(想いやりファーム、帯広畜産大学、奈井江町国保病院、北海道東海大学)
- 7月9日 福山市母親大会に参加
- 7月15日 四万十川カヌーツーリングに参加



- 7月17日 福山港フェスティバル・家族環境小学校に参加
- 7月20日 蔵王地区市政報告会
- 7月23日 多治米学区球技大会に参加
- 7月25日 ケアマネージメント研究会・交流会に参加
- 7月26日 沖野上地区市政報告会を開催
- 8月5日 南ふるさと祭り、多治米盆踊りに参加
- 8月6日 山野峡川漁師体験ツアーを開催
- 8月8日 市民平和大会に参加
- 8月9日 芦田川川下りキャンプに参加
- 8月12日 福山市学区対抗水泳大会に参加
大田記念病院 盆踊りに参加
- 8月13日 福山二上り踊りに参加
- 8月14日 福山リトルシニア主催
第2回大田祥子杯中学生硬式野球大会を開催



- 8月15日 備後護国神社に参拝
- 8月27日 六校親善水泳大会に参加

芦田川川下り

水辺の安心・安全とハッピー



皆さんこんにちは、大田ゆうすけです。
私の所属する新党派「誠友会」は、子供の夢を育む市政の実現を念頭におき、市長の掲げる「住んでみたい・行ってみたいまち・福山」を、議員としての役割を怠ることなく、是々非々の立場で行政と協働し、早期に実現できるよう努力して行きたいと考えております。
9月議会では、9月12日(火)10時より誠友会を代表して私が質問を行います。ぜひ傍聴にお越し下さい。



が合流してから下流です。芦田川を掃除する会やイベントは多々ありますが、芦田川で遊ぶ会というのは珍しいのではありませんか？何のために掃除をするのか、目的が曖昧なように思います。私が思うに、「川で遊ぶ・川を利用する」ために掃除するので無いでしょうか？芦田川を「せつと綺麗にならないかな？」という考えに繋げるためには、まず川でしっかり遊ぶなければならぬと思います。

今後とも、「川へ遊びに行きたい」という考えを活動してまいります。



全国で子供の水の事故が多発し、福山市でも8月14日(緑町の水路に小1が転落死)・15日(芦田川で釣りをしていた中2が水死)と残念な事故が続きました。特に緑町の事故は私の家のすぐ裏の水路で発生し、亡くなられたお子さんのご冥福を心よりお祈り致しました。また、この死を無駄にしたいいけないという思いもあり、ただ単に子供を川に近づけないというのではなく、いかに安全に遊ばせるかという事に取り組む必要があると考えています。

学所有のラフトボートを借用して、小学生を対象とした川下りを行いました。子供達は漕ぎより、もっぱら川の中で泳いでおり、ライフジャケットとヘルメットを着用した万全の装備で川遊びを堪能した様子でした。しかし、子供の潜在能力と言うのは素晴らしい、また疲れを知らない遊心には、オジサン達は着いていけません。沈下橋の上から何十回と川に飛び込み、サポート要員の大学生がヘトヘトになって相手をしていました。これを「川ガキ」と言ったところでしょうか。この子供達が将来、川の浄化や自然環境の保護に活躍してくれる事を願っています。



中国地方の1級河川で32年連続水質ワーストの芦田川、本当に汚いのは高屋川

山野峡の川遊び体験

井原の上田市議、笠岡の馬越市議、私の3人が発起人の「小田県笹舟カヌークラブ」の企画により、子供たちを集め、山野峡にて川漁師さんの協力により投網による鮎漁を体験し、「塩焼きや」「鮎飯」にして食べるというイベントを行ないました。子供達に山野の自然に触れて欲しいという地元の方の協力があったことで、実現したイベントです。子供達は魚を追いかけ、大人でも怖い高さの岩からの飛び込んだ子がいたり、セルヒンを仕掛けたり、漁師さんと一緒に魚を捕まえたり、川の水で冷やしたトマトやスイカを食べたりもしました。この夏一番の思い出になった事でした。

小さな子供もライフジャケットを着れば、深みでも安心して遊べましたし、誰一人として退屈そうなお子様はいませんでしたし、綺麗な川があれば他に何もいらぬという事が良くわかりました。



六校親善水泳大会

水の事故が続くと、水辺に近寄りたないという指導がありがちです。しかし、市内の6小学校では、夏休み期間中に水泳教室を開き、8月最終日曜日に大会を開いて成果を披露しています。多くのボランティアに支えられ、今年は25回記念大会を開催する事ができました。私も今年も蔵王水泳教室のコーチとして指導の傍ら、不審火で全焼したプール更衣室の後処理等に奔走する事になりました。



河口堰の開放について

7月27日に備後地区の漁業組合の皆さんから、芦田川の河口堰を撤去し、自然の芦田川に戻すよう要望がありました。川の網は現在は「観光網」ですが、その昔は川の周辺は鯛の素晴らしい漁場であり、その最大の功労者は芦田川が運んできた豊かなプランクトン等であったと考えられます。それゆえ漁師さんたちの要望はごもっともであると感じます。しかし、河口湖の水は工業用水として日量7万トン程度の利用があり、代替水源が確保できない限り開放は難しいのですが、30年・50年先の「清流・芦田川の復活」を考え、河口堰開放に向けて検討会を設置するなどの措置が必要と考えています。

大田ゆづりのおすすめ「ローナー」

ノーマイカーデーのすすめ

今年も暑い夏でした。地球温暖化の影響が身に沁みて感じます。

私は普段から自転車移動していますが、皆様もぜひ公共交通機関の利用や、徒歩や自転車の利用をご検討ください。具体的には福山市で取り組んでいる「BEST運動」に参加する事です。BEST(ベスト)運動とは、渋滞緩和とCO₂削減を目的として、月に一回以上、好きな日に、自由な方法で取り組む「ノーマイカーデー」のことであり、レディオ・B・RINGOのホームページ(<http://fm777.co.jp>)にアクセスし、fanclub bestの会員登録(無料)をすることで、会員になれば飲食店の割引や、旅館の宿泊券が当たるなどの特典もありますので、多くの方の参加をお勧めします。

発芽ごはんのすすめ

「発芽ごはん」という、専用の精米機で搗いた三分搗き玄米は、炊く前に30分程度水に浸けておけば飛躍的にGABAが増え、また食感も玄米とは比較にならないほど食べやすく、血糖値を下げる効果もあると期待されています。下手な健康食品より、すこし安価であり、従来は主食であった米飯文化を取り戻す効果的な手段となるのではないかと考え、今後の普及に力を入れて行きたいと考えています。

※GABA(ギャバ)は体内で主に抑制系の神経伝達物質として脳の血流を活性化し、酸素供給量を増やしたり、脳細胞の代謝機能を高めるはたらきがあることがわかっています。このため、

脳内のギャバが不足するとハイライするのをはじめ、さまざまな体調不良を招き、ひいては大きな病気の引き金となってしまうのです。

ドナーカードのすすめ

全国約25万人の人工透析者のうち、腎臓移植待機登録者は約三万三千人おられます。腎臓移植の件数が伸び悩んでいる原因の一つに、腎臓提供者の減少があります。平成7年に臓器移植法が施行されて、従来の心停止下での臓器提供に加えて、脳死での提供も可能になりましたが、マスコミ報道の加熱と同時に多くの誤解や勘違いも多発し、従前から行なわれていた心停止下での臓器提供件数までもが減少してしまいました。移植医療は提供する側も、提供される側も、正しい知識をもって、先入観や風評などに惑わされないことが大切です。行政としても、移植医療に対する正しい知識を広める取組みを検討するよう、ドナーカードの更なる普及等を要望しているところです。

ライフジャケットのすすめ

泳ぎに自信があっても無くても、海や川に行く時はライフジャケットを着るよう。少々の流れや波にもまれても、絶対に沈むことはありません。



福島のまがひぐりコンクリート

車のまがひぐりコンクリート

福山市は景観行政団体でもあり、早急に多くの市民を巻き込んだ景観条例景観計画の研究・検討、パブリックコメントの募集や、公募委員を含めた景観計画策定委員会の設置などを6月議会にて要望しました。



特に車の景観の問題は、今後福山が観光都市として「行ってみたいまち」を目指すのであれば、非常に重要な問題です。現在、計画が進んでいる港湾の埋立て架橋計画は賛否が分かれています。賛成派・反対派のいずれも「車の発展」を願っているはず。その方法論以前に、橋

サンピア存続問題

バラ公園・緑町公園と一体感のあるサンピアについては、市民の利用も多く、収支も比較的良好と聞いています。しかし、国の方針で「年金・健康保険施設整理機構RFIO」により、5年以内に競争入札による売却が決定しています。私は福山市が主体性を持って後継企業の誘致や、跡地活用について支援してほしいかと、議会で訴えています。100万本のほらのまちを目指す福山市にとって、周辺の公園と一体化したサンピアの今後の利活用については重要な課題です。8月には実際に東京のRFIOを訪問し、詳しい話を聞いてきましたし、広く市民に意見を聞き、アイデアを求めて対処を考えても良いのではないのでしょうか。

例えば、市立短大を4年制大学へ移行するという案が検討されていますが、この際、サンピアの跡地に移転し、より魅力的なキャンパスに4年制大学を設置するという案は、皆さんいかが思われますか？



ドナーカードのすすめ

全国約25万人の人工透析者のうち、腎臓移植待機登録者は約三万三千人おられます。腎臓移植の件数が伸び悩んでいる原因の一つに、腎臓提供者の減少があります。平成7年に臓器移植法が施行されて、従来の心停止下での臓器提供に加えて、脳死での提供も可能になりましたが、マスコミ報道の加熱と同時に多くの誤解や勘違いも多発し、従前から行なわれていた心停止下での臓器提供件数までもが減少してしまいました。移植医療は提供する側も、提供される側も、正しい知識をもって、先入観や風評などに惑わされないことが大切です。行政としても、移植医療に対する正しい知識を広める取組みを検討するよう、ドナーカードの更なる普及等を要望しているところです。

ライフジャケットのすすめ

泳ぎに自信があっても無くても、海や川に行く時はライフジャケットを着るよう。少々の流れや波にもまれても、絶対に沈むことはありません。



南部保育所の桜の木

私の住む学区にある南部保育所には駐車場が無く、子供の送迎車は常に路上駐車の状態です。やむを得ず保育所のシンボリックな存在の桜の木を切つて、駐車場にする計画が浮上しましたが、各方面と折衝した結果、桜の木を切らずに別の場所に駐車場を作る事で決着しました。利便性はかなり追及するつもりですが、本質が見えなくなる事もありますが、子供達のためにも桜の木が残つて良かったと考えています。

政務調査費の増額について

9月議会にて月額7万円から10万円に引き上げられる見込みです。このご時勢に誠に苦しいのですが、今まで以上に調査研究に励み市政に反映して行くつもりです。また領収書の公開など、透明性の確保にも務めてまいります。

なお、過去2年の政務調査費の使途はホームページに公開していますので、ご参照ください。

議会傍聴の案内

市議会の本会議・委員会は、どなたでも予約無しで傍聴できます。また、福山市のホームページより、インターネット中継でもご覧いただけます。委員会での私の発言内容は、市のホームページ「議会情報」の中の、会議録検索システムをご参照下さい。